

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

独立系情報サービス企業として、持続的な企業価値向上と社会への貢献

売上高
300億円以上営業利益
30億円以上1株あたり当期純利益
200円以上時価総額
450億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 価値提供モデルへの転換

両利きの経営で人的リソース依存から脱却し、独自の強みを追求して付加価値を高める

3. 顧客基盤の強化

エンドユーザー比率の拡大に向け、積極的な情報提供・提案活動とCC-Dashのフル活用

2. アセットベースビジネスの拡大

ナレッジをアセット化し活用・再利用することで知識集約型企業への転換を図る

4. 人材・組織力強化

社員への人的投資でIT人材を強化し、エンゲージメント施策を推進

③ 対処すべき課題

① 業容の拡大

- ・ DXニーズへの対応で専門部署を社長直轄に設置
- ・ 金融・保険・公共などでの信頼関係を活かし顧客内シェアを拡大
- ・ 子会社との事業提携やM&Aを戦略的に検討

② 収益力の向上

- ・ 1人当たり売上高・利益を高め付加価値を向上
- ・ ナレッジ・ノウハウをベースにサービスモデルを変革
- ・ QMS・CMMIのノウハウでPMO監視強化と品質管理を実践

③ 人材育成と確保

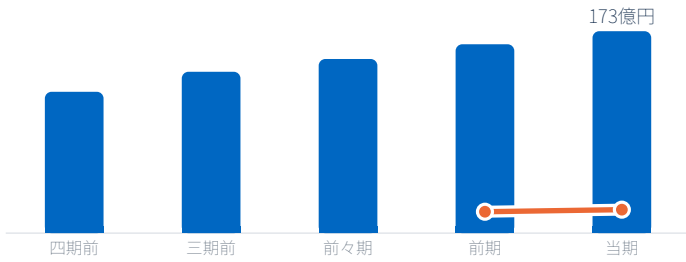
- ・ スペシャリスト採用やリファラル採用など多様な採用手法を展開
- ・ 最新技術習得とプロジェクトマネジメントスキルの研修
- ・ 2025年4月に人事制度を見直し、処遇格差と選択肢を改善

面接で使えるポイント

- ・ 企業理念『心技の融和』で誠意と技術を両立し、社会に貢献する姿勢
- ・ 中長期目標で売上高300億円・営業利益30億円を掲げ、持続的成長を実現
- ・ 新中期経営計画『Growing Value 2026』でDXニーズへの対応を強化

証券コード 2307

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
173億円営業利益率
11.6%財務健康度
65点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 42.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
573万円

情報・通信業内 449位/592社

平均年齢
36.0歳

情報・通信業内 412位/593社

平均勤続
11.0年

情報・通信業内 105位/593社

女性管理職
17.5%

情報・通信業内 137位/373社

男性育休
90.0%

情報・通信業内 128位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: クロスキャット、健康優良企業認定制度「金の認定」を7年連続で

